

第 1557 回 天文学教室談話会

2015 年 5 月 12 日 (火) 16:30 より

東京大学理学部 1 号館西棟 11 階 1109 号室 (天文学専攻会議室) にて

“宇宙ガンマ線・ニュートリノ背景放射：超新星、銀河、銀河団”

安藤真一郎 (アムステルダム大学)

近年フェルミ衛星をはじめとしたガンマ線望遠鏡の観測により、GeV-TeV 領域の高エネルギー宇宙のすがたが詳細に研究されるようになってきました。また、南極にある IceCube ニュートリノ望遠鏡は、TeV-PeV 領域で、太陽系外からの宇宙ニュートリノの測定にはじめて成功しました。しかしながら、これらガンマ線・ニュートリノ背景放射の起源については、まだ理解する余地が多分に残されています。この講演では、超新星、銀河、銀河団といった天体から、これら高エネルギー粒子がどのように形成されるのか、またそれらがどの程度背景放射に寄与するのかについて、自身の研究を中心にお話しします。最後に、近年研究が進んできているガンマ線背景放射の非等方性についても、最新の理論・観測双方の現状を報告します。